

麻疹（はしか）に注意しましょう

2018年3月、沖縄県内で台湾からの旅行客が麻疹と診断されるという事例がありました。以降、この患者と接触のあった二次感染例を中心として、**沖縄県内で麻疹患者の発生が現在も続いており、今後も流行が懸念されています。**

大型連休に旅行を計画されている方は十分に注意してください。

麻疹はきわめて感染力が強く、マスクなどでは十分な予防が困難です。また、重症化すると肺炎や脳炎などをきたし、重篤な後遺症を残すこともあります。

麻疹についてよく理解し、感染を防止し、広げないように十分な注意をしましょう。

<麻疹について>

麻疹は麻疹ウイルスによる感染症で、空気・飛沫・接触感染で発症します。感染力はきわめて強く、ワクチン接種以外での予防は困難です。

感染すると、10～12日程度で発症し、38度程度の発熱とかぜ症状が2～4日続き、その後39度以上の高熱とともに発疹が出現します。主な症状は発熱や発疹のほか、咳、鼻汁、眼の充血などです。

合併症がなければ主な症状は7～10日で軽快しますが、重症になると、肺炎や脳炎などを起こし、致命的となることもあります。

治療薬はなく、発症すると症状をおさえるための対症療法が中心です。

<予防について>

個人でできる最も有効な予防法はワクチンの接種です。ワクチンの接種歴のない方は速やかに医療機関へ相談し、ワクチンを接種することを検討してください。

また、咳やくしゃみで感染しますので、他の感染症同様、手洗いやマスクの着用をしましょう。

<注意点>

麻疹は学校保健安全法で第二種の感染症に指定されており、解熱した後3日を経過するまで出校停止となっています。**診断を受けたら医師の指示に従い、外出はせず、人との接触を避けましょう。**

また、麻疹は強い感染性がありますので、感染を疑った場合も、むやみな受診は避け、まずは医療機関に電話で問い合わせるようにしましょう。

麻疹罹患歴がない、あるいはワクチン未接種（または接種歴不明）の方が、沖縄旅行後に発熱した場合は、受診の前に医療機関に電話をし、麻疹の可能性があることを伝え、受診方法を確認するようにしてください。

<参考>

[<続報>沖縄県における麻疹患者の発生状況について（平成30年4月9日現在）](#)

[麻疹とは（国立感染症研究所）](#)

[厚生労働省 麻しん・風しん](#)

[東京都感染症情報センター 麻疹](#)

[感染症への対応（中央大学保健センター）](#)